

科目名		授業形態	担当教員名	
呼吸療法装置学		講義	遠藤 宏和・阪本 壮志	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
呼吸器疾患への治療方法としての酸素療法（低流量、高流量）、高気圧酸素療法、在宅酸素療法等の人工呼吸器以外での呼吸管理について概説する。また、人工呼吸器の仕組みやモード、合併症等についても概説する。				
授業の到達目標				
呼吸療法の基礎を修得し、原理から合併症までを学ぶ。				
授業計画				
回	内容			
1	呼吸生理	16	呼吸療法総論・呼吸療法で用いる記号略語	
2	酸素化・換気の評価	17	呼吸不全の病態生理	
3	グラフィックモニタにみられる換気力学	18	医療ガス（ボンベ・設備）	
4	気道管理に関わる解剖	19	酸素療法(1)（用手式・ジャクソンリース）	
5	異常呼吸パターンを意識した呼吸アセスメント	20	酸素療法(2)（Tピース・経鼻・酸素マスク）	
6	人工呼吸器の原理、構成、初期設定	21	酸素療法(3)（リザーバー・ベンチュリー）	
7	人工呼吸器のモードの種類	22	酸素療法(4)（ネーザルハイフロー・NPPV）	
8	人工呼吸器開始基準とウィーニング	23	酸素療法(5)（NPPV）	
9	人工呼吸器の各種警報対策	24	在宅人工呼吸療法・睡眠時無呼吸障害	
10	気管吸引の目的、注意点、合併症	25	高気圧酸素療法（第1種・第2種）	
11	人工呼吸器の合併症	26	高気圧酸素療法（点検・トラブル）	
12	加温加湿器と人工鼻	27	吸引療法・給湿療法（加温・加湿）	
13	ネブライザ	28	人工呼吸器（機器・保守管理）	
14	総合演習	29	モニタ管理（本体・周辺機器）	
15	麻酔器	30	まとめ	
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	遠藤50%、阪本50%		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
臨床工学講座 生体機能代行装置学 呼吸療法装置 第2版	廣瀬 稔・生駒 俊和		医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				